

佳作

みんなの思い

茨城県ひたちなか市立高野小学校六年 田中 愛梨

私は、五年生から学校に行けなくなりました。理由は自分でも分かっていませんが、学校に行く事を考えると、不安になってきて体調が悪くなってしまいます。学校に行けなくなった私は、お母さんとたくさんけんかしたりもしました。でも、時どき学校に行ける日があると、いつも仲良くしてくれている友達が、何も変わらず話しかけてくれました。私は、人と話すのが苦手なので、なかなか話す事ができなかったのですが、その友達はいつも話しかけてくれました。

六年生になっても、同じクラスになって、その友達はやっぱり変わらず話しかけてくれて、私は少しずつ学校に行ける日が増えていき、夏休みに入るまでの間、あまり休まずに学校に行くことが出来ました。今はその友達と話している時間がとても楽しく

なり、お母さんにも、

「楽しそうにしている日が、多くなったね。」と言われました。

私は、友達は多くないけれど、学校に行くということも変わらず話してくれる友達が大好きです。そして、私の体調をいつも心配してくれる先生のおかげで、私は学校に行けるようになった、とお母さんが教えてくれました。だから、もし私のように学校になかなか来られない人がいたら、今は少しでもいいから、私も話しかけてあげたいと思いました。

たくさんけんかしたお母さんとは、少しずつ色んな相談が出来るようになりました。

お母さんは、

「大人には色々な事があるけれど、子供たちも子供たちなりに色々な事があって、それでもがんばって学校に行かないといけないんだね。」

と、言いました。そして、私が久しぶりに登校はんのみんなど、学校に行けた日お母さんは、うれしくて涙がとまらなかったそうです。朝、「行ってきます」と、学校に行くすがたを見送るのはうれしいと言っていたお母さんの話を聞いて、これから学校に行ける日を増やしていきたいと思いました。